

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 イハラサイエンス株式会社
 コード番号 5999 URL <http://www.ihara-sc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野琢雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 長岡 敏

TEL 03-5742-2701

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,792	△0.4	958	△25.6	905	△31.4	452	△40.9
23年3月期第3四半期	7,821	76.0	1,288	—	1,319	678.4	765	889.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 453百万円 (△40.7%) 23年3月期第3四半期 764百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	38.72	—
23年3月期第3四半期	65.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	12,648	8,150	64.4	697.77
23年3月期	12,798	7,872	61.5	673.91

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 8,150百万円 23年3月期 7,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	15.00	15.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,200	△3.1	1,400	△24.4	1,350	△27.7	680	△37.4	58.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	14,000,000 株	23年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	2,318,634 株	23年3月期	2,318,434 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	11,681,466 株	23年3月期3Q	11,744,247 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成23年5月11日発表の通期連結業績予想を修正しております。
2. 本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は東日本大震災による停滞期から、回復基調がつづいておりますが、米国景気の減速懸念や欧州の財政危機等による世界的な経済の不透明感が続き、歴史的な円高を受け、先行きに慎重な見方が広がりつつあります。

こうした中で、当社グループは『世の中のいかなる変化にも対応し納期遅れは出さない』、『あらゆるムダの排除による徹底した生産性向上に取組み、低コストでお客様の期待に応える』体制をさらに強化してきました。この変化対応力が評価され、工作機械・産業機械・建設機械関連市場においては引合い・受注が順調に回復しましたが、半導体及び液晶製造装置関連の受注が減少し、売上高は前年同期をやや下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は77億92百万円（前年同期比0.4%減）となり、営業利益は9億58百万円（同25.6%減）、経常利益は9億5百万円（同31.4%減）、四半期純利益は4億52百万円（同40.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下4事業所を報告セグメントとしております。

（静岡事業所）

半導体及び液晶製造装置関連市場向けのクリーンなバルブ、配管ユニット等を生産しておりますが、半導体及び液晶製造装置関連の需要が伸びず、売上高は13億9百万円（前年同期比19.9%減）、セグメント利益は2億26百万円（同40.5%減）となりました。

（岐阜事業所）

一般産業の油空圧配管用の継手、バルブ等を生産しており、重点市場である産業機械・工作機械市場向けは、需要が回復してきたため、売上高は32億43百万円（前年同期比15.6%増）、セグメント利益は13億71百万円（同9.8%増）となりました。

（山形事業所）

半導体及び液晶製造装置関連、さらに分析・各種計装及び食品・パワープラント・化学市場に向けての継手、バルブ等を生産しておりますが、半導体及び液晶製造装置関連の需要が伸びず、売上高は24億26百万円（前年同期比12.4%減）、セグメント利益は7億22百万円（同19.6%減）となりました。

（IPEC岐阜事業所）

流体別・用途別に最適な配管システムを提供することを目標にロング継手、カセット生産、配管設計・施工を行っておりますが、建設機械向けの需要が持ち直したため、売上高は8億93百万円（前年同期比9.6%増）、セグメント利益は1億92百万円（同26.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億49百万円減少し、126億48百万円となりました。これは、主に法人税等の納付及び配当金の支払いにより現金及び預金が5億39百万円減少したこと、建物の新設により2億85百万円増加したこと等によるものです。

（負債の部）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億28百万円減少し、44億97百万円となりました。これは、主に法人税等の納付により未払法人税等が6億96百万円減少したこと、社債の償還により3億75百万円減少したこと、長期借入金の増加により4億50百万円増加したこと、賞与引当金の計上により2億11百万円増加したこと等によるものであります。

（純資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億78百万円増加し、81億50百万円となりました。これは、主に利益剰余金が2億77百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間における実績を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成23年5月11日に公表いたしました平成24年3月期の通期連結業績予想を修正いたしました。詳しくは本日別途公表しております「業績に予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,660	5,121
受取手形及び売掛金	2,207	2,294
商品及び製品	332	398
仕掛品	479	435
原材料及び貯蔵品	700	709
繰延税金資産	149	152
未収還付法人税等	—	7
その他	129	135
流動資産合計	9,658	9,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,057	1,343
機械装置及び運搬具（純額）	573	516
土地	526	526
建設仮勘定	72	87
その他（純額）	33	76
有形固定資産合計	2,263	2,549
無形固定資産	78	97
投資その他の資産		
投資有価証券	56	75
長期貸付金	2	8
生命保険積立金	57	64
繰延税金資産	615	532
その他	66	66
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	797	746
固定資産合計	3,139	3,394
資産合計	12,798	12,648

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	506	509
1年内償還予定の社債	525	400
短期借入金	33	91
未払金	312	251
未払法人税等	702	6
賞与引当金	—	211
役員賞与引当金	20	—
その他	104	110
流動負債合計	2,204	1,580
固定負債		
社債	750	500
長期借入金	73	524
退職給付引当金	1,559	1,533
役員退職慰労引当金	159	178
資産除去債務	53	53
その他	126	126
固定負債合計	2,721	2,916
負債合計	4,925	4,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	618	618
利益剰余金	7,431	7,708
自己株式	△1,742	△1,742
株主資本合計	7,871	8,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	2
その他の包括利益累計額合計	0	2
純資産合計	7,872	8,150
負債純資産合計	12,798	12,648

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	7,821	7,792
売上原価	5,307	5,519
売上総利益	2,513	2,272
販売費及び一般管理費	1,225	1,314
営業利益	1,288	958
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	1
仕入割引	4	0
助成金収入	6	—
保険解約返戻金	75	—
その他	13	3
営業外収益合計	101	5
営業外費用		
支払利息	17	13
為替差損	27	26
売上債権売却損	11	10
売上割引	0	0
その他	13	7
営業外費用合計	69	58
経常利益	1,319	905
特別損失		
投資有価証券評価損	6	7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	40	—
訴訟和解金	—	1
ゴルフ会員権評価損	—	2
その他	0	—
特別損失合計	47	11
税金等調整前四半期純利益	1,272	894
法人税、住民税及び事業税	561	362
法人税等調整額	△55	79
法人税等合計	506	442
少数株主損益調整前四半期純利益	765	452
四半期純利益	765	452

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	765	452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	1
為替換算調整勘定	0	—
その他の包括利益合計	△0	1
四半期包括利益	764	453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	764	453

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,601	2,433	2,644	783	7,463	357	7,821
セグメント間の内部売上高又は振替高	32	370	124	32	559	5	564
計	1,634	2,804	2,768	815	8,022	363	8,386
セグメント利益	380	1,248	898	151	2,679	52	2,731

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない販売子会社における商品売上等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,679
「その他」の区分の利益	52
セグメント間取引消去	△350
全社費用(注)	△1,054
棚卸資産の調整額	△37
四半期連結損益計算書の営業利益	1,288

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,273	2,847	2,312	838	7,271	520	7,792
セグメント間の内部売上高又は振替高	36	395	113	54	600	3	603
計	1,309	3,243	2,426	893	7,872	524	8,396
セグメント利益	226	1,371	722	192	2,512	67	2,579

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない販売子会社における商品売上等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,512
「その他」の区分の利益	67
セグメント間取引消去	△451
全社費用(注)	△1,159
棚卸資産の調整額	△10
四半期連結損益計算書の営業利益	958

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。